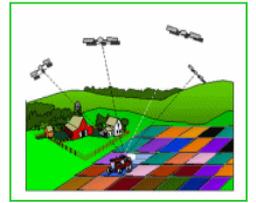




北海道情報化農業ニュース

北海道における持続的な農業の発展のための情報技術の活用促進
およびその健全な普及を図る。



- 「北海道衛星『大樹』を打ち上げるための署名」の依頼
- 「アグリソリューションセンター（北海道）オープン記念」の案内

号外 2014. 10. 16

北海道科学大学より「北海道衛星『大樹』を打ち上げるための署名」の依頼とヤンマーより「アグリソリューションセンター（北海道）オープン記念」の案内がありましたので、お知らせします。

北海道衛星『大樹』を打ち上げるための署名について

【主旨】

北海道では1990年代後半から、米の品質向上の取り組みとして衛星リモートセンシングが全国に先駆けて導入され、大きな成果を出してきました。

日本では宇宙産業の実利用が望まれておりますが、農業分野への応用は最も有力な候補のひとつといえます。そのため、私は2003年4月より、「道民の力で、北海道衛星を打ち上げよう！」というかけ声の下で、多くの道内の方々と共に、農業リモートセンシング衛星の研究開発を始めました。早いもので、あれから11年経ち、その間には北海道初の超小型衛星「HIT-SAT」の打ち上げ（2006年）、宇宙用ハイパースペクトルカメラ「HSC」のプロトモデルの開発（2011年）を行って準備を進めてきました。国内では今年の6月に内閣府FIRSTのプロジェクトによる超小型衛星「ほどうし3, 4号」（代表：東京大学・中須賀真一教授）が打ち上げられ、ようやく小型衛星の農業利用に現実味が帯びてきました。

今ようやく、日本において農業リモートセンシングの実用化（事業化）ができる段階になりました。今なすべきことは、農業衛星という新しいインフラを整備し、“天気予報”のようなイメージで使えるような環境をつくることです。即ち、

- 第1に、農業リモートセンシングを含めた『精密農業生産システム』をパッケージ化すること
- 第2に、全国に普及させることによって、農業の高齢化問題への対策となり、また農業生産法人等による農業の工業化の流れへの貢献すること
- 第3に、海外に輸出することによって、日本の農法をアジアに普及し、世界の食糧問題への貢献すること

私たちは、このような観点から、日本の新しいインフラとしての農業衛星の実現とその事業化に対して、国家としてのプロジェクト支援を強く要望します。

【目標】 国内の精密農業パッケージ普及による経済効果（直接効果）（コメの場合）

- ・ 米の品質向上効果 735億円（全国） 54億円（北海道）
- ・ 肥料削減効果 463億円（全国） 34億円（北海道）

【具体的内容】

1. ハイパースペクトル画像利用サービスのフィールド試験及びデータ配信実験
2. 北海道からの精密農業生産システムのパッケージの構築（手法、指導、データ配信等のセット）
3. 国産農業リモートセンシング衛星群のインフラ整備
4. インフラ整備を国家の支援の下に行い、農業データ利用サービスを民間が事業化する

以上の要望を、12月に、本主旨に御賛同の方のご署名と共に農林水産大臣宛に企画書として提出したいと考えております。

つきましては、添付の署名用紙にご記入の上、以下の住所まで原本を郵送、もしくは同意の意（お名前と住所）を書かれた電子メールを、11月末までにお送りいただけますよう、お願い致します。

【送り先】

〒006-8585 札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
北海道科学大学 工学部 電気電子工学科
佐鳥 新 宛

E-mail : satori@hus.ac.jp

Tel/Fax 011-688-2317

北海道科学大学 佐鳥 新

「ICTを活用した最先端農業」などトークショー開催のお知らせ
— ヤンマーアグリソリューションセンター（北海道）オープン記念 —

一昨年に創業100周年を迎えたヤンマーグループは、次の100年を見据えて新しい農業を提案する「プレミアムブランドプロジェクト」を現在推進しております。

この一環として、ヤンマーアグリジャパン(株)北海道カンパニー本社では、ショールームの改修など施設を大幅にリニューアルし「ヤンマーアグリソリューションセンター」として新たに始動することといたしました。

つきましては、オープニング記念の展示会においてトークショーはじめ数多くの催し物がございますので、多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

《トークショー》

○日 時：11月8日（土）～9日（日）

○場 所：ヤンマーアグリソリューションセンター（北海道）ナレッジセンター
江別市工業町10番地6（電話011-381-2300）

<http://www.mapion.co.jp/f/mapion/redirect/mail.html?nl=43/7/35.019&el=141/31/13.392&sc1=70000>

○内 容

- 11月8日（土）13：00～ 「ICTを活用した夢の最先端農業」
野口 伸 氏（北海道大学大学院農学研究科 教授）
- 11月8日（土）15：00～ 「北海道農産物による地域活性化」
中道 博 氏（レストラン「モリエール」オーナーシェフ）
- 11月9日（日）13：00～ 「モスバーガーと契約農家の取り組み」
布施 義男 氏（株）モスフードサービス商品本部長）
- 11月9日（日）15：00～ 「栄養学から考える儲かる野菜」
市野 真理子 氏（デザイナーフーズ(株)取締役）

○その他

- ・ プレミアム展示会の開催期間は、11月7日（金）10時から9日（日）16時までです。（なお、7日10時～13時は一部社内行事のため入場できない場所がございます。）
- ・ トークショーは事前の申込は不要です。
- ・ トークショーのほか次の催し物がございます。
 - ①イベントステージ
新型トラクター・コンバイン披露、ダンス、ファッションショー など
（7日（金）15時～ 工業デザイナー 奥山清行氏トークショー）
 - ②デモンストレーションフィールド
マニトウ社デモ走行、RCヘリアクロバット、最新トラクター試乗 など
 - ③フードコート
郷土のシェフ集団「シェフズクラブ北海道」による道産食材を利用したお料理提供

④その他

グッズ販売、親子向けクイズ大会、バルーンアーティスト、塗り絵など

- お車をご利用の場合は、臨時駐車場にご案内しますので、本社までお越してください。
(照会等：ヤンマーアグリジャパン(株)北海道カンパニー企画部 電話 011-381-2300)

＜発行＞北海道高度情報化農業研究会
事務局：常田 大輔
〒060-0005 札幌市中央区北5西6-1
公益財団法人北海道農業公社
TEL：011-241-7551 FAX：011-271-3776
e-mail：tsuneta@adhokkaido.or.jp
編集委員：丸山 健次（酪農学園大学）
TEL&FAX：011-388-4864